



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コロナ
コード番号 5909 URL <https://www.corona.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大桃 満
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長兼
情報システム部担当 (氏名) 五十嵐 義夫 (TEL) 0256-32-2111
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期第3四半期	67,352	△3.1	2,472	△16.6	2,822	△13.9	2,045	△11.8
2023年3月期第3四半期	69,508	7.7	2,965	51.9	3,280	47.0	2,319	46.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,612百万円(28.3%) 2023年3月期第3四半期 2,035百万円(39.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	70.07	—
2023年3月期第3四半期	79.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年3月期第3四半期	105,877	74,689	70.5
2023年3月期	102,158	72,899	71.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 74,689百万円 2023年3月期 72,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2024年3月期	—	14.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	83,400	△2.3	900	△52.7	1,300	△43.2	800	△46.0	27.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	29,342,454株	2023年3月期	29,342,454株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	166,205株	2023年3月期	161,112株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	29,199,262株	2023年3月期3Q	29,161,806株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の5類感染症への移行に伴い、経済社会活動の正常化に向けた動きが進んだ一方で、原材料・エネルギー価格や物価の上昇、旅行やイベントなど外出増加に伴う消費行動の変化、耐久消費財に対する節約志向が継続するなど、依然として不透明な状況で推移しました。

住宅関連機器業界においては、新設住宅着工戸数は前年を下回るなど弱含みで推移しました。

このような状況の中、当社グループは持続可能な社会の実現に向けた「2026ビジョン」を策定し、第9次中期経営計画のもと、3つの基本戦略「ヒートポンプ/電化事業の拡大」「『楽』から『楽しい』への事業領域拡大」「業務合理化による高コスト体質からの脱却」の取り組みを進めました。「ヒートポンプ/電化事業の拡大」においては、大手家電メーカーに家庭用燃料電池コージェネレーションシステム用の貯湯タンクユニットを供給したほか、ヒートポンプ機器の部品生産設備の新たな導入にも着手しました。また、「『楽』から『楽しい』への事業領域拡大」においては、暮らしの楽しみや可能性を“外へ広げる”という意味を込めた新ブランド「OUTFIELD(アウトフィールド)」から小型のポータブル石油ストーブ等を発売したほか、2021年に運行を終了した上越新幹線「Maxとき」モデルの衣類乾燥除湿機や加湿フィルターを除菌する深紫外線LEDを搭載した大能力タイプの加湿器を発売するなど、事業領域の拡大や暮らしの質・快適性の向上を目指した商品開発に取り組みました。

これらの取り組みにより、製品の種類別売上高の概況は、以下のとおりとなりました。

<暖房機器>

暖房機器の売上高は、24,384百万円(前年同四半期比2.9%増)となりました。

需要期において、新商品である暖房性能の向上とデザインをリニューアルした寒冷地向け石油暖房機の最上位モデル「AGRATIO(アグレシオ)」や灯油使用量を抑制する省エネ機能を全機種に拡大した石油ファンヒーターなどを軸にした生産・販売活動に取り組みました。暖房機器全体は「OUTFIELD」ブランドなどの販売のほか、製品価格の改定による販売単価の上昇も寄与し、前年同四半期を上回りました。

<空調・家電機器>

空調・家電機器の売上高は、11,683百万円(前年同四半期比10.1%減)となりました。

ルームエアコンは消費者の買い控えやメーカー間の販売競争の激化などの影響もあり、前年同四半期を下回りました。また、除湿機は業界初となる除湿機本体とサーキュレーターが分離できる商品、加湿器は新商品である大能力タイプを軸に販売拡大に向けた活動に取り組みました。しかしながら、空調・家電機器全体は需要期におけるルームエアコンの販売減少が影響し、前年同四半期を下回りました。

<住宅設備機器>

住宅設備機器の売上高は、26,392百万円(前年同四半期比5.4%減)となりました。

太陽光発電の余剰電力活用における「コロナ快適ホームアプリ」との連携など省エネ性や快適性を向上させたエコキュートや、高効率・高付加価値機能を有した石油給湯機などを中心に販売活動を進めましたが、新設住宅着工戸数の減少や消費者の買い控えのほか、販売が好調であった前年の反動などもあり、住宅設備機器全体は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は67,352百万円(前年同四半期比3.1%減)となりました。利益面については、原材料・エネルギー価格の上昇のほか、住宅設備機器や空調・家電機器の販売減少などにより、営業利益は2,472百万円(前年同四半期比16.6%減)、経常利益は2,822百万円(前年同四半期比13.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,045百万円(前年同四半期比11.8%減)となりました。

『当社グループの四半期業績の特性について』

当社グループは、通年商品の住宅設備機器のほか、夏季に需要の多いルームエアコンを中心とした空調・家電機器と冬季に需要の多い暖房機器を取り扱っているため、業績に季節的変動があります。売上高及び利益は、暖房機器の割合が高い第3四半期連結会計期間に増加する傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比べ3,294百万円増加し、61,130百万円となりました。これは有価証券が7,103百万円、商品及び製品が1,929百万円それぞれ減少した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が10,449百万円、電子記録債権が1,732百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

有価証券につきましては、譲渡性預金の減少及び債券の償還などによるものであります。商品及び製品につきましては、主に暖房機器の在庫が増加した一方、空調・家電機器の在庫が減少しております。売上債権につきましては、当社グループの売上には季節的変動があり、前連結会計年度より第3四半期連結会計期間が大きくなる傾向にあるためであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比べ424百万円増加し、44,746百万円となりました。これは投資有価証券が757百万円増加したことが主な要因であります。

投資有価証券につきましては、主に時価の上昇及び債券の購入によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比べ2,439百万円増加し、29,677百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が978百万円減少した一方、未払法人税等が1,139百万円、流動負債のその他が2,260百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

支払手形及び買掛金につきましては、主に暖房機器の生産量が増加した一方、住宅設備機器及び空調・家電機器の生産量がそれぞれ減少したことによるものであります。未払法人税等につきましては、当社グループの売上高の季節的変動に起因し、第3四半期連結会計期間末における課税所得が増加する傾向にあるためであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比べ509百万円減少し、1,510百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比べ1,789百万円増加し、74,689百万円となりました。株主資本においては、利益剰余金が配当金の支払により817百万円、自己株式処分差損の振替により4百万円それぞれ減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により2,045百万円増加しております。また、自己株式が処分により45百万円増加した一方、取得により46百万円減少しております。その他の包括利益累計額においては、その他有価証券評価差額金が411百万円、退職給付に係る調整累計額が154百万円それぞれ増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年10月31日に公表した数値から変更しておりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,774	4,456
受取手形、売掛金及び契約資産	9,299	19,748
電子記録債権	10,501	12,234
有価証券	18,003	10,899
商品及び製品	12,580	10,651
仕掛品	880	856
原材料及び貯蔵品	898	1,066
その他	1,904	1,224
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	57,835	61,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,028	3,806
土地	10,210	10,210
その他（純額）	2,695	2,647
有形固定資産合計	16,934	16,664
無形固定資産	489	418
投資その他の資産		
投資有価証券	20,510	21,267
その他	6,408	6,416
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	26,898	27,664
固定資産合計	44,322	44,746
資産合計	102,158	105,877
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,147	20,169
未払法人税等	300	1,439
製品保証引当金	481	499
その他	5,308	7,569
流動負債合計	27,238	29,677
固定負債		
退職給付に係る負債	10	10
その他	2,009	1,499
固定負債合計	2,019	1,510
負債合計	29,258	31,188

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,449	7,449
資本剰余金	6,686	6,686
利益剰余金	58,732	59,956
自己株式	△161	△162
株主資本合計	72,707	73,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161	573
土地再評価差額金	772	772
退職給付に係る調整累計額	△742	△588
その他の包括利益累計額合計	191	758
純資産合計	72,899	74,689
負債純資産合計	102,158	105,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	69,508	67,352
売上原価	53,861	52,158
売上総利益	15,646	15,194
販売費及び一般管理費	12,681	12,722
営業利益	2,965	2,472
営業外収益		
受取利息	138	146
受取配当金	61	65
有価証券売却益	38	4
持分法による投資利益	42	30
その他	67	108
営業外収益合計	347	354
営業外費用		
支払利息	1	1
有価証券売却損	31	—
為替差損	—	2
その他	0	0
営業外費用合計	33	4
経常利益	3,280	2,822
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	48	51
その他	0	—
特別利益合計	49	53
特別損失		
固定資産除却損	1	22
投資有価証券売却損	46	0
特別損失合計	47	22
税金等調整前四半期純利益	3,282	2,854
法人税、住民税及び事業税	1,437	1,513
法人税等調整額	△474	△705
法人税等合計	962	808
四半期純利益	2,319	2,045
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,319	2,045

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,319	2,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△363	411
退職給付に係る調整額	79	154
その他の包括利益合計	△283	566
四半期包括利益	2,035	2,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,035	2,612
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当社グループの事業は、住宅関連機器の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。